

～スピットファイア(Spitfire)Mk.22



(スピットファイアプロトタイプと↓)

スピットファイアの最終型 Mk.22 です(Mk.24 という型がありますが、Mk.24 の小改良版で外観は同じです)。この Mk.22 は、スピットファイアという名前はつけられているものの、主翼が大幅改造されて(それまで1本の主桁であったものが、2本の主桁を通すように再設計された)、その楕円翼の輪郭も異なります。一方、尾翼を含めた胴体は昔ながらのスピットファイアの形状が残されており、プロトタイプ(スーパーマリン



Type300)と比べても、間違いなくスピットファイアの血統であることがわかります。この機体が正式採用される際にビクターという名前も候補に挙がったそうですが、カタチから判断すれば、やはりスピットファイアの名前を使ったのは正解だったでしょう。ただし、型式はさすがに20を超えてローマ数字(XXII)では表示するのが紛らわしくなったので、アラビア数字(22)に置き換えられています。なお、スピットファイアは、さらに主翼も胴体を再設計することになりますが、名称もさすがに変わってスパイトフルとなります。

【模型について】

英国のエアフィックス(Airfix)の1/72のキットです。同社が再スタートした後の金型なので、とてもよい感じです。ただ、カッコ良くしようしすぎたのか、キットの機首は細いように感じて、下面に薄くポリパテを積層し太くしています。(中川裕幸 2024年2月)

